

国公立大

弘前大

学生と教授が白熱討論を行う 「ライブラリカフェ」を実施

弘前大附属図書館が、旧制弘前高等学校外国人教師館内に新たにオープンした「弘大カフェ」にて、第1回「ライブラリカフェ」を開催した。このイベントは、昨年度開催された「ラウンジトーク」の後継事業。学生と教授が、コーヒーを飲みながら多様なテーマについて語り合う新たな交流・表現の場として、今年度よりスタートした。

6月に行われた第1回のテーマは、「感染症と社会問題」。参加者は、医学研究科の中根明夫教授と、医学部の1年生～6年生までの学生5名で、天然痘やエイズ、インフルエンザなどの感染症から、地域包括ケアの重要性など、さまざまな議題について意見が交わされた。また、感染症の背景にある所得格差や教育格差など、医療に関わる社会問題についても、医学生が目線で白熱した討論が繰り広げられた。

当日は、来場できなかった人に向けて、討論の様子を動画サイト「YouTube Live」で生放送。録画・編集した動画も、後日配信された。

同イベントは、今後も月1回のペースで開催を予定している。



意見を交わす医学生と中根明夫教授